

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ州)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 紙	2013年1月31日	2013年1月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目：	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

## 報告要旨

### 1、邦人対象の治安情報

- A、 一般的傾向
- B、 地区別・犯罪集計結果：補足文書1
- C、 多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書2

#### A、一般的傾向

今月は、商店・個人宅を狙った空き巣、駅やホームでのスリが多く目立ちました。次いで、小規模商店を狙った強盗事件や路上での個人に対する恐喝窃盗事件も多く報告されています。また、相変わらずお年寄りをターゲットにした〔偽の水道局職員・警察官〕の手口による盗難事件も数件見られました。

#### [補足文書1]

#### B、地区別治安情報集計結果

地域別に見ると、リヨン東地区での犯罪発生件数が圧倒的に多くなっています。次いでリヨン2区、リヨン1区とリヨン南地区、リヨン7区となっています。

### 2013年1月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アソール県	イザール県	ロワール県	合計
殺人事件・凶悪事件										1						1	2
すり		1															1
空き巣・盗難	2	1	3			1	4	2	1	5	1	2	1			4	27
置き引き																	0
引ったくり																	0
万引き		1															1
強盗・暴力窃盗	1	4	2	1	1	1	1	2		4	1	5	1			1	25
窃盗(車・自転車)																	0
カー・ホームジャック																	0
車内盗難		2													1		3
猥褻行為・強姦	1				1					1							3
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	2	1								2	1		1	1			8
詐欺(カードなど)																	0
拉致・誘拐																	0
破損・放火	1			1	2	1	1			6							12
ストーカー																	0
麻薬取引・所持							1		1	3							5
飲酒/無免許運転												1					1
夫婦間暴力	1								1								2
軽犯罪			1														1
<b>合計</b>	<b>8</b>	<b>10</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>7</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>22</b>	<b>3</b>	<b>8</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>6</b>	<b>91</b>

備考欄： リヨン東→Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons  
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon  
 リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison  
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

\*数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

## [補足文書 2]

### C,多発の手口と場所の特定・防止策（新聞による報道記事から）

地下鉄の駅やホームなどで、ジプシー系の若者らによるスリの事件が発生している。相変わらず携帯電話が狙われているので、スリや引ったくりの被害に遭わないためにも、特に最新型のスマートフォンや iPhone をお持ちの場合は、こうした場所ではできるだけ使用を避け、上着のポケットなどに入れて歩く場合も周囲に目を配って十分な警戒が必要である。

ここ 20 年で、強盗事件の犯人のプロフィールが変化している。組織的犯罪グループは強盗から空き巣の犯行へと移行しており、今日の強盗事件の犯人は素人であることが多く、前日は車内盗難の犯行だったのが翌日には容易に強盗を働くといったケースがよくある。入念な準備をしないため、強いプレッシャーを受けて暴力的になる可能性があり、被害者にとってより危険が高くなるといえる。犯人は自宅の近所の小規模商店を狙うことが多く、被害額もたいてい 200 ユーロを超えることは少ない。また、犯行後に車やスクーターなどを使わずにそのまま走って逃げるケースが 90% を占める。（プログレ紙 1 月 29 日）

#### ① 空き巣、盗難

- 1 月 5 日夜 7 時頃、コンフリユアンスショッピングセンターで、20 歳の若者が万引きの現行犯で逮捕された。若者は化粧品店で香水瓶（800 ユーロ相当）を盗んだ。（プログレ紙 1 月 7 日）
- 1 月 6 日午前 5 時 20 分頃、リヨン 8 区で、26 歳の男がピザレストランでの空き巣の現行犯で警察に逮捕された。（プログレ紙 1 月 7 日）
- 1 月 10 日夜 7 時 15 分頃、Villeurbanne で、マルセイユに住む 22 歳の男が警察に逮捕された。男は共犯者と個人宅に侵入して空き巣を働いたところだった。（プログレ紙 1 月 12 日）
- 1 月 12 日午後、リヨン 7 区の地下鉄 Guilloitière 駅で、SISTC（公共交通治安部隊）が不審な 6 人の若者グループに気付いた。警察官らは監視の末、15 歳と 17 歳の少年（ロム人）をスリの現行犯で逮捕した。（プログレ紙 1 月 13 日）
- 1 月 11 日と 12 日、ロワール県で手口の似た 3 件の空き巣事件が発生。グラインダーで店のシャッターを切断するというもので、タブレットや携帯電話その他のハイテク商品が盗まれた。（プログレ紙 1 月 14 日）
- 1 月 11 日昼前頃、リヨン 3 区に住む 99 歳のお年寄りが「偽の隣人と偽の警察官」の手口による盗難の被害に遭い、宝石類を盗まれた。（プログレ紙 1 月 15 日）
- 1 月 19 日夜 10 時頃、Vaulx-en-Velin で、住民が隣の建物によじ登っている人の影を目撃し、空き巣を疑って警察に通報した。目撃者は、警察が到着する前に同じ住宅の住民を集めて建物の回りを包囲したが、犯人らは裏側から逃げた。しかし、夜 10 時 15 分頃、容疑者の男が 2 人逮捕された。2 人は空き巣の盗難品を所持していた。（プログレ紙 1 月 21 日）
- 1 月 19 日午後、リヨン市内で、2 人のスリが県間公共交通治安部隊の警察官に逮捕された。警察官らは、2 人が地下鉄の中で利用客のハンドバッグを注視しているのに気が付き、地下鉄から出た 2 人の後をつけ、République 通りで通行人のポケットから携帯電話を盗み取ったところをスリの現行犯で逮捕した。（プログレ紙 1 月 21 日）
- 1 月 23 日午後 2 時頃、リヨン 9 区で、83 歳のお年寄りが「偽の水道局職員・警察官」の手口による盗難の被害に遭い、宝石類を盗まれた。（プログレ紙 1 月 25 日）
- 1 月 26 日夜 10 時半頃、リヨン 2 区で、車のガラス窓を割って中にあった物を盗んでいた 3 人組の若者が現行犯で BAC（犯罪捜査班）に逮捕された。（プログレ紙 1 月 28 日）

#### ② 強盗・脅し窃盗

- 1 月 2 日朝、リヨン 3 区で、配達業者が車の中で同僚を待っていたところ、覆面の 2 人組にいきなり車の運転席側の窓ガラスを割られ、ナイフを突きつけられて、車内にあった小包を 5、6 個盗まれた。犯人らは後ろに止めてあった車に盗品を積むとそのまま逃走した。小包には会社から社員に支給される食事券（Ticket-Restaurant）が入っており、被害額は数十万ユーロ相当にのぼる。食事券を受け付ける加盟店には、盗まれた券の番号が通知され

た。(プログレ紙1月4日)

綿密な調査の結果、被害額は上記の金額を下回る 25000 ユーロ相当と判明した。(プログレ紙1月5日)

- 1月5日午昼過ぎ、Pierre-Bénite にあるスーパーIntermarché にナイフを持った男が押し入り、売上金を奪って逃げた。(プログレ紙1月6日)
- 1月6日深夜、リヨン5区で警察の取締りを受けたホームレスの男が、本人の名義でないキャッシュカードを所持していた。調査の結果、このカードは1月2日午前1時頃にリヨン1区で起きた窃盗事件の被害者のものであることが判明。男はチュニジアへの強制退去処分を受けており、その後国境警察に引き渡された。(プログレ紙1月8日)
- 1月8日夜、武器を持った覆面の男が単独でリヨン3区と8区のスーパーFranprix に強盗に入った。(プログレ紙1月9日)
- 1月11日午前6時頃、Corbas で、肉屋経営者が自宅から仕事に出かけようとしたところを武装した覆面の4人組が待ち受けており、家の中に連れ戻そうとしたが被害者が抵抗したため、現金数千ユーロが入った被害者のカバンを奪って逃げた。その後8時頃に警察により容疑者らの車が発見され、間もなく犯人のうち3人が自宅で逮捕された。4人目は逃走したが警察官らが追いかけて間もなく逮捕された。(プログレ紙1月12日)
- 1月11日午後、2人の男が、同日にBronとGivors で起きた2件のホテル強盗事件の容疑者として身柄を拘束された。(プログレ紙1月12日)
- 1月13日夜8時頃、リヨン8区Pressensé 通りにあるバー・PMUの経営者が2人組による強盗の被害に遭った。事件が起こったのはバーの中ではなく近くの通りで、経営者が店を閉めて車で帰宅しようとしていたところ、犯人らの車に阻止され、1人が武器で脅している間にもう1人が車内に催涙ガスをまいた。2人組は週末の売上金を奪い取ると車で逃走した。(プログレ紙1月14日)
- 1月15日午前0時半頃、リヨン2区Gailleton 通りで、通行人が3人組に武器で脅され、携帯電話を奪われた。3人組は間もなく逮捕された。チュニジア出身のホームレスで、武器は偽物と判明した。(プログレ紙1月16日)
- 1月21日午前11時20分頃、Givors のカルフルショッピングセンターにある宝石店に武装した4人組が押し入り、ショーケースの宝石類を奪ってオートバイとスクーターで逃げようとしたところへ、通報を受けた警察官が駆けつけた。犯人らはそのまま逃走したが、警察が後を追いかけて、犯人らは途中で車と衝突するなどして結局3人が捕まった。1人だけ逃走に成功した。(プログレ紙1月22日)
- 1月24日夜7時15分頃、Villeurbanne のEmile-Zola 通りにあるLidl マーケットで強盗事件。その後間もなく警察により5人の容疑者が逮捕された。(プログレ紙1月25日)
- 1月25日午後6時45分頃、リヨン8区のTotal ガソリンスタンドに覆面の2人組が押し入り、経営者を脅して売上金を奪うとそのまま逃走した。(プログレ紙1月27日)
- 1月28日早朝、Grigny のスーパーLidl で強盗事件。犯人4人組は店の駐車場で出社して来た1人目の店員を待ち受け、覆面を被って入り口に向かう店員に近寄り、店内に押し込んだ。2人は武器を持っていた。目当ては金庫の現金だが店員が金庫を開けられず、もうひとつの小さい金庫にあった小額の現金を奪った。(プログレ紙1月29日)

ローヌ県で2012年に起きた強盗事件の件数は189件。2011年に起きた強盗事件は216件で、前年比でおよそ14%減少している。(プログレ紙1月29日)

### ③ 暴力・窃盗事件

- 1月11日午後1時頃、リヨン2区Perrache 駅で14歳と15歳の少年2人が警察に逮捕された。2人は同日朝、14歳の少年から携帯電話とiPhoneを奪った疑い。(プログレ紙1月15日)
- 1月21日夜に、リヨン7区で、18歳の女性に暴力を振るって携帯電話を奪った2人組のうち1人が事件後間もなく逮捕された。男は27歳のチュニジア人で、不法滞在により国外退去を命じられていた。(プログレ紙1月23日)
- 1月25日夜7時40分頃、リヨン6区で、15歳と17歳の少女3人組が警察に逮捕された。3人は住宅の建物の玄関ホールで21歳の女性に暴力をはたらいてハンドバッグを奪い取った

- ばかりだった。(プログレ紙 1月 26日)
- 1月 25日午前 4時過ぎ、リヨン 2区で 15歳から 19歳の 4人組が警察に逮捕された。4人組は同区 Gaillon 通りで複数の通行人を襲って窃盗をはたらいたばかりだった。(プログレ紙 1月 26日)
  - 1月 2日深夜、リヨン 4区で、26歳の若者に暴力を振るいナイフで脅して携帯電話と所持品を盗んだばかりの若者 2人が Caluire 市警察に逮捕された。2人が同区で起きた他の暴力窃盗事件の犯人かどうかも含めて現在捜査が進められている。(プログレ紙 1月 27日)

#### ④ 脅し・暴力行為

- 1月 11日午前 5時半頃、リヨン 1区地下鉄 Hôtel de Ville 駅の階段で、友人を連れた若い男が 20歳の男性と女性 2人組に麻薬を売ろうとして近づき、断られるとナイフで 2人を脅した。男はその後間もなく逮捕された。(プログレ紙 1月 15日)

## 2.テロなどに関する一般治安情報

フランス軍によるアフリカ・マリ共和国軍事介入を受けて、フランス国内の Plan Vigipirate 警戒態勢レベルがこれまでの「Rouge (赤)」から「Rouge renforcé (赤強化)」に移行し、特に不安定な国に関連する陸上・航空輸送機関の監視措置、および軍事基地や礼拝所、大使館、また大勢の人が集まる場所の防衛措置が強化されることになった。これに伴い、1200人の兵士が追加動員される。

また、このレベルでは、列車乗客の無差別検査や TGV 車両内のパトロールなども行われる。(プログレ紙 1月 15日)

## 3.在留邦人の被害事例

ローヌ＝アルプ州における被害報告は特になし。

## 4.今月の出来事

今日 (1月 1日)、ローヌ県で、7つの自治体の合併により 2つの新しい自治体が誕生する。Bourg-de-Thizy (人口 2615人)、Thizy (2483人)、Marnand (616人)、Mardore (513人)、La-Chapelle-de-Mardore (207人) の 5つの自治体を合併した Thizy-les-Bourgs と、Saint-Germain-sur-l'Arbresle (人口 1329人) と Nuelles (657人) を合併した Saint-Germain Nuelles だ。中央市庁舎がこの新しい自治体それぞれに設けられ、旧自治体には市長代理とともに付属機関として市役所が残される。(プログレ紙 1月 1日)

1月 18日午後 3時 21分、警察に「地下鉄に爆弾を仕掛けた」という通報が入った。これを受けて、地下鉄・ケーブルカーの全車両とホームから 4万人の利用者全員が避難させられた。検査やパトロールの後、何も異常がないことが確認され、1時間半後の午後 5時頃から全線が徐々に回復に向かった。(プログレ紙 1月 19日)

## 5.その他の情報

明日から、リヨン西部の Brindas、Chaponost、Messimy、Thurins でバスの新規路線 3線が運行に入る。この 4自治体は、リヨン都市圏が所属する SYTRAL (ローヌ＝リヨン都市圏輸送混合組合) への加入によって TCL (リヨン公共交通) による 10号路線

(Thurins/Messimy/Brindas/Craponne Centre)、11号路線

(Thurins/Messimy/Brindas/Chaponost/Oullins/Perrache)、12号路線 (Saint-Genis 2/Chaponost/Oullins-La Saulaie) のバス 3路線を利用できることになる。(プログレ紙 1月 1日)

2012年 12月 31日大晦日の夜から翌年 1月 1日早朝にかけて放火された自動車の台数が発表された。その結果によると、フランス全国で 1193台 (延焼 344台) にのぼる。また、爆竹の使用により、1人が死亡し、4人が重症を負った。ローヌ県については、放火された自動車の台数は 49台 (うち延焼 17台)、取り締まり件数は 25件にとどまった。最も台数が多かった自

治体は Vénissieux の 7 台（うち延焼 3 台）で、ごみ箱放火も 4 件報告されている。警察との大掛かりな対立は見られなかった。（プログレ紙 1 月 2 日）

フルヴィエール大聖堂が、足場組立のため 1 月 7 日から 3 月 9 日まで閉鎖される。（プログレ紙 1 月 5 日）

#### TCL : リアルタイムで輸送状況が分かるアプリケーション

iPhone 向けの TCL（リヨン公共交通）輸送情報関連アプリケーションが、AppleStore からダウンロードして利用できるようになった。SYTRAL（ローヌ=リヨン都市圏輸送混合組合）によると、1 月末には Android スマートフォン向けアプリケーションもスタートする予定。このアプリケーションでは、次の 2 車両が駅に停車する正確な時刻が分かる他、事故発生時など輸送に影響が出た場合の情報をリアルタイムで知ることができるため、代わりの路線やコースなどを探す場合に便利だ（位置情報機能で最寄の駅や停留所を検索可能）。よく利用する駅や停留所のお気に入り登録、詳細検索基準（バス/地下鉄の優先、最低乗換え、所要時間など）を指定したコースの検索などもできる。また、Vélo'v の全ステーションが表示され、自転車の可用性や駐車スペース情報なども掲載される。（プログレ紙 1 月 8 日）